

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 疲労時五感の定式化と疲労時能力を AI で補正する五感拡張装置の開発

2. 個人研究者名

大西 鮎美（神戸大学大学院工学研究科 助教）

3. 事後評価結果

本研究者は、疲労時における能力を情報処理技術によって五感を拡張することで補うことを目的とした研究に取り組んできた。さまざまなテーマに取り組んで成果をあげているが、その中には疲労時ではない状況における能力拡張も含まれている。たとえば暗いところから明るいところに出るとき、逆に明るいところから暗いところに入るときにおける視覚を補正する装置（環境の変化によって見えなくなることを防ぐ）を開発しているが、とても興味深くなおかつ実用性の高い研究である。疲労は個人によってどの能力が下がるかがかなり変化するが、さまざまな能力に対して対応方法を考えているため、多くの人にとって役に立つ可能性があると考えられる。